

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成24年10月31日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成24年10月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【10月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

10月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を下回る入荷となった。

「前年をやや上回った」は、レタス、ピーマンの2品目である。

「前年並み」は、なす、トマトの2品目である。

「前年をやや下回った」のは、だいこん、ほうれんそう、ねぎ、きゅうりの4品目である。

「前年を下回った」のは、はくさいの1品目である。

「前年をかなり下回った」のは、にんじん、キャベツ、ばれいしょ、たまねぎの4品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、10月の野菜価格は、総じて前月を下回る価格となった。

「前月平均をかなり上回った」のは、きゅうり、なす、トマトの3品目である。

「前月平均をやや上回った」のは、レタスの1品目である。

「前月平均並み」は、ねぎ、ばれいしょ、さといもの3品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツの4品目である。

「前月平均を下回った」のは、ピーマンの1品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、ほうれんそう、たまねぎの2品目である。

【11月の見通し】

① 入荷量の見通し

11月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷が見込まれる。

「前年をやや上回る」のは、北海道及び宮崎県主体のピーマンの1品目である。

「前年並み」は、北海道主体のにんじん、はくさい、ほうれんそう、ねぎ、ばれいしょ、たまねぎ、北海道及び千葉県主体のだいこん、北海道及び茨城県主体のキャベツ、レタス、北海道及び宮崎県主体のきゅうり、北海道及び熊本県主体のトマト、高知県及び熊本県主体のなすの12品目である。

「前年をやや下回る」のは、埼玉県及び宮崎県主体のさといもの1品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、11月の野菜価格は、総じて前月平均をやや上回る価格が見込まれる。

「前月平均を大幅に上回る」のは、キャベツの1品目である。

「前月平均をかなり上回る」のは、だいこん、レタス、きゅうり、ピーマンの4品目である。

「前月平均を上回る」のは、にんじん、はくさい、なすの3品目である。

「前月平均並み」は、ねぎ、ばれいしょ、さといも、たまねぎの4品目である。

「前月平均をやや下回る」のは、ほうれんそう、トマトの2品目である。

※ この資料の内容は、10月29日（月）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	11月の入荷量			11月の卸売価格			11月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	△	=	=	○	○	○	北海道(76.2%)、千葉(7.6%)
にんじん	△	=	△	○	○	=	北海道(93.8%)
はくさい	=	=	=	○	○	○	北海道(77.7%)
キャベツ	○	=	○	○	○	=	北海道(70.3%)、茨城県(18.4%)
ほうれんそう	○	=	○	△	○	=	北海道(77.6%)
ねぎ	△	=	=	=	○	=	北海道(94.6%)
レタス	△	=	=	○	=	△	茨城県(85.4%)、北海道(10.2%)
きゅうり	△	=	=	○	△	△	宮崎(74.5%)、北海道(17.3%)
なす	△	=	=	○	△	△	高知(66.0%)、熊本(8.6%)
トマト	△	=	△	△	△	=	北海道(53.9%)、熊本(44.4%)
ピーマン	△	○	○	○	△	△	北海道(34.2%)、宮崎(30.8%)
ばれいしょ	△	=	○	=	△	△	北海道(100.0%)
さといも	○	△	△	=	△	△	宮崎(36.9%)、埼玉(12.6%)
たまねぎ	△	=	=	=	△	△	北海道(98.3%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い